

## 環境科学系「プロジェクトⅢ」で日野市内の水辺環境を調査しました

4月27日(土)、環境科学系2年生が必修科目「プロジェクトⅢ」で日野市内の水辺環境を歩いて調査し、水生生物の調査や川の水質簡易分析を実施しました。

自然環境と生活環境の保全を両立させる方法を考えるきっかけになりました。

■歩行見学のルート(約6.5km)

明星大学に集合

程久保川沿いの遊歩道を移動

程久保川で採水(写真1)

京王高幡不動駅近くの向島用水親水路・向島緑地を見学(写真2)

浅川「ふれあい橋」下の河川敷広場で、浅川の水質簡易分析を実施(写真3、4)

浅川・程久保川合流地点で生物採取(写真5)



↑写真1 ↓写真4



↑写真2 ↓写真5



↑写真3



## 生命科学・化学系「ナノ・バイオテクノロジー」で、 胡桃坂 仁志教授(東京大学)による特別講義を実施しました

生命科学・化学系3年生必修科目「ナノ・バイオテクノロジー」では、サイエンスの最前線の一端を理解することを授業の目的としています。

4月16日(火)は胡桃坂 仁志教授(東京大学・定量生命科学研究所)による「真核生物における遺伝子の機能発現機構」の特別講義を実施しました。

遺伝子の発現・制御をつかさどるクロマチン構造解明に取り組む胡桃坂教授の最先端の研究内容に、学生たちは大きな刺激を受けました。



## 機械工学系 高教授が日本図学会賞を受賞しました

機械工学系 高 三徳教授は、30年以上にわたり、中国および日本の大学において図学のCG/CAD/CAMへの応用研究と教育に携わってきました。2001年日本図学会に入会以来、同学会と中国図学会の交流に貢献し、また図学に関する国際会議にて17件の論文を発表し、その功績が認められ、この度日本図学会賞を受賞する運びとなりました。

本賞は学会員より推薦された候補者の中から、論文審査等の選考を経て受賞者1名が決定します。2016年度、2017年度と2年連続で受賞者がいませんでしたが、今回高教授の受賞が決定しました。

高教授は日中図学国際会議をアジア図学フォーラム(Asian Forum on Graphic Science: AFGS)への発展に尽力しました。また中国図学会関係者の依頼で4回の招待講演を担当し、日本図学会が主導支援する国際図学会(International Conference on Geometry and Graphics: ICGG)における実質的役割を担い、中国からの参加者増加の一翼を担うなど日本図学会と中国図学会ならびに図学教育と研究の進歩発展に多大な寄与を果たしました。



## 7/28 夏休み科学体験教室&オープンキャンパス同時開催!

7月28日(日)、オープンキャンパスと夏休み科学体験教室を同時に開催します。

夏休み科学体験教室とは、理工学部の1年生が先生となり、必修科目「プロジェクト1」の授業を通して学んだ内容を、授業や実験を通し小中学生にわかりやすく伝えるイベントです。

